



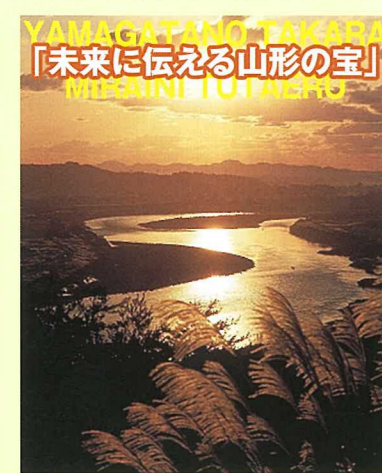
※雨天時は山形市立第一小学校体育館での開催になります。
 ※各ステージとも団体の出演時間が変更になる場合があります。

サブステージ

10:30 ~ 10:50	蔵王半郷松尾囃子 神輿渡御
11:20 ~ 11:40	清流さけがわ太鼓
11:40 ~ 12:00	山上一刀流剣舞
12:00 ~ 12:20	角川太鼓
12:20 ~ 12:40	大山いざや巻
12:40 ~ 13:00	稲沢番楽
13:00 ~ 13:20	東堀越獅子踊り
13:50 ~ 14:10	雪国鷹巣太鼓
14:10 ~ 14:30	伊佐沢少年少女念佛踊り
14:30 ~ 14:50	あまるめ飛龍太鼓
14:50 ~ 15:10	金生田植踊り
15:10 ~ 15:30	萩生諏訪神社荒獅子祭り

メインステージ

10:30 ~ 10:50	雪国鷹巣太鼓
10:50 ~ 11:10	伊佐沢少年少女念佛踊り 神輿渡御
11:30 ~ 11:50	あまるめ飛龍太鼓
11:50 ~ 12:10	金生田植踊り
12:10 ~ 12:30	萩生諏訪神社荒獅子祭り
13:00 ~ 13:20	蔵王半郷松尾囃子
13:20 ~ 13:40	清流さけがわ太鼓
13:40 ~ 14:00	山上一刀流剣舞
14:00 ~ 14:20	角川太鼓
14:30 ~ 14:50	大山いざや巻
14:50 ~ 15:10	稲沢番楽
15:10 ~ 15:30	東堀越獅子踊り



「未来に伝える山形の宝」とは？
 先人からの贈り物、未来への預かり物

宝の登録件数 / 23市町村27団体 (平成31年4月1日現在)
 紹介ブース / 6月22日(土) (場所: 荘内銀行前)

山形県では、地域における歴史・文化・自然など共通するテーマで結びついた複数の文化財の保存と活用の取組みが一体となったものを「未来に伝える山形の宝」として登録しています。

地域にのこるたくさんの文化財を「守り」「活かす」
 取組みを一緒に考えませんか

「未来に伝える山形の宝」ポータルサイト
 ※県内の文化財に関すること、催し物を紹介しています。

未来に伝える山形の宝 検索

詳しくはWEBでチェック!

日本遺産 コーナーもあります♪



第8回 日本一さくらんぼ祭り

ふるさと芸能のつどい

おおやま まき 大山いざや巻
あまるめ飛龍太鼓
せいりゅう 清流さけがわ太鼓
いなざわばんがく 稲沢番楽
つのかわだいこ 角川太鼓
ゆきぐにたかのすたいこ 雪国鷹巣太鼓
いざざわしょうねんしょうじょねんぶつおど 伊佐沢少年少女念佛踊り
はぎやうすわじんじゃあらししまつ 萩生諏訪神社荒獅子祭り
やまがみいっとうりゅうけんぶ 山上一刀流剣舞
かなおい たうえおど 金生田植踊り
さ 蔵王半郷松尾囃子

日時 令和元年 **6月22日(土)** 10:30~15:30(予定)

会場 山形市七日町路上ステージ 2箇所
 (雨天時は山形市立第一小学校体育館) 裏面会場図をご覧ください

出演団体

大人団体(4団体)		ふるさと塾賛同団体(8団体)	
村山最上置賜庄内	金生田植踊り(金生田植踊り保存会)	村山	蔵王半郷松尾囃子(蔵王半郷松尾囃子保存会)
	稲沢番楽(稲沢番楽保存会)	山	雪国鷹巣太鼓(雪国鷹巣太鼓保存会)
	萩生諏訪神社荒獅子祭り(萩生諏訪神社荒獅子祭り保存会)	最上	清流さけがわ太鼓(清流さけがわ太鼓)
	東堀越獅子踊り(東堀越獅子踊り保存会)	置賜	角川太鼓(角川太鼓を育てる会)
		庄内	山上一刀流剣舞(山上学話会)
			伊佐沢少年少女念佛踊り(長井市立伊佐沢小学校)
			大山いざや巻(大山いざや巻保存会)
			あまるめ飛龍太鼓(あまるめ飛龍太鼓ジュニア キッズ☆わだこ)

どなたでも
自由にご覧
なれます



【問い合わせ先】 山形県教育庁文化財・生涯学習課 TEL 023-630-3342

第8回 日本一さくらんぼ祭り

ふるさと芸能のつどい

山形県は4つの地域に分かれ、地域ごとに民俗芸能をはじめとする豊かな文化を育んできました。第8回日本一さくらんぼ祭り「ふるさと芸能のつどい」では、各地域から特色のある民俗芸能団体12団体に出演していただき、民俗芸能が持つ豊かな魅力の一端に触れていただきます。

MURAYAMA 村山 OMOGI 最上 MIYOKI 置賜 MASUDA 庄内

上山市
金生田植踊り保存会



金生の田植踊りの記録によれば延宝6年とあり、340年以上の伝統を保ってきました。最初の披露は土岐頼隆が上山に入部した時とされています。昭和35年に上山市無形文化財の指定を受けて保存と継承に努めています。

【当日の演目】お正月・思う人・それはや
【定期公演情報】
5月5日 10:30～ 上山市お城まつり 等

金山町
稲沢番楽保存会



稲沢地区に伝承されてきた番楽は五穀豊穰・悪魔退散・家内安全を祈る力強い民族舞踊で言い伝えでは神室山の山伏が里において舞ったもので600年の伝統を持っています。

【当日の演目】武士舞・三番叟
【定期公演情報】
1月1日 13:00～ 稲沢研修センター

飯豊町
萩生諏訪神社荒獅子祭り保存会



飯豊町萩生地区にある諏訪神社の獅子舞・渡御行列は、町の無形民俗文化財に指定されています。萩生町民は地域の伝統に対する意識が極めて高く、伝統的な祭事と芸能は先の世代から忠実に継承されています。見所は警護かけです。

【当日の演目】丁切り・橋渡り・お神酒取り・警護かけ
【定期公演情報】8月16～17日 14:00～
諏訪神社～萩生地内を練り歩く

鶴岡市
東堀越獅子踊り保存会



旧藤島町に伝わる獅子踊りの起源は、源頼朝が奥州平定のおり新山神社を戦勝祈願所として創建し、建久五年(約800年前)8月18日に5匹の獅子を添えて遷宮式を執行したと言われ、以来神社の例祭で奉納されています。

【当日の演目】大踊り
【定期公演情報】8月18日 13:00～
新山神社境内(鶴岡市東堀越)

山形市
蔵王半郷松尾囃子保存会



300年以上前の元禄時代に旅の僧によって伝えられた祇園囃子の流れをもつお囃子。寄席太鼓、本曲7曲、道中囃子2曲が伝えられており、昭和39年山形市指定無形民俗文化財になりました。地区祭や敬老祝賀会等に出演します。

【当日の演目】寄席太鼓・木目の山・きりん・箱根
【定期公演情報】
地区祭や敬老祝賀会等

鮭川村
清流さげがわ太鼓



鮭川村民の志気を鼓舞し、新しい文化創造の願いを込め、昭和63年に創設。各種イベントでの演奏、小学校の総合学習における指導などを通じて、多方面に太鼓の響きを届けよう、日々頑張っています。

【当日の演目】轟太鼓・若竹太鼓・清流祝太鼓・清流もつつき太鼓
【定期公演情報】8月18日 17:30～
庭月観音とうろう流し、奉納演奏

米沢市
山上一刀流剣舞



山上学話会は、明治19年に、自由民権運動の結社として、米沢興譲館の教師と生徒達によって結成されました。地域に伝承する詩吟と剣舞を取り入れ、昭和3年に、山上一刀流剣舞となりました。

【当日の演目】九月十三夜・不識庵樹山を撃つ
の図に題す・獄中の作・筑摩河
【定期公演情報】
4月29日 上杉神社 9月28日 松岬神社

鶴岡市
大山いざや巻保存会・キッズ華の会



今から500年程前大山を統治していた武藤家の時代に教え広めたのが始まりと伝えられています。拍子木と唄上げに併せ、踊り手達が「せりふ」を交えながら踊り、当地域にふさわしく人情細やかに洗練されて上品に唄われ、今後も地域の財産として残して行きたい伝統芸能です。

【当日の演目】尾浦八景・尾浦伝来の友揃い
【定期公演情報】
9月29日 10:00～ 鶴岡市中央公民館

大石田町
雪国鷹巣太鼓保存会



雪国鷹巣太鼓は1988年に大石田鷹巣で始まり、現在の大人のメンバーは2014年から伝承活動をしています。大石田北小学校に毎年太鼓を教えており、今年から児童を新メンバーに加え、再出発の団体です。

【当日の演目】ぶち合わせ太鼓・雪国鷹巣太鼓
【定期公演情報】
8月15日 16:00～ 大石田駅前

戸沢村
角川太鼓



当団体は、平成9年に和太鼓の演奏活動を通し、郷土文化の伝承と青少年健全育成を目的に発足しました。会員は小学校から社会人まで幅広く19人在籍しており、村内外のイベントに出演して活動を行っています。

【当日の演目】角川またぎ太鼓・宴・月山
【定期公演情報】
11月3日 9:00～ 戸沢村中央公民館

長井市
伊佐沢少年少女念佛踊り



伊佐沢地区に伝わる「伊佐沢念佛踊り」は「五穀豊穰」「無病息災」を願って踊り継がれています。その念佛踊りを伊佐沢小学校の子供達が踊り初めて41年目となりました。様々なパートと笛、太鼓との息の合った踊りをどうぞご覧ください。

【当日の演目】伊佐沢小学校少年少女念佛踊り
【定期公演情報】
9月8日 10:00～ 伊佐沢小学校グラウンド

庄内町
あまるめ飛龍太鼓



キッズ☆わだこは、2003年の国民文化祭のオープニング演奏をきっかけに発足。地元庄内町の小中学生で活動しています。昨年は、日本太鼓ジュニアコンクール山形県大会に出場し、第三位に入賞しました。

【当日の演目】飛龍伝説
【定期公演情報】8月12日 18:00～
庄内町余目駅前から茶屋町通り

日本一さくらんぼ祭り「ふるさと芸能のつどい」によせて
東北文教大学短期大学部総合文化学科 特任教授 菊地和博

平成17年度から山形県の事業として「ふるさと塾」が始まりました。それ以来、山形の子どもたちは笛や太鼓、舞いや踊りなどの民俗芸能を地域から学んで継承する活動がとて活発に行われています。郷土への誇りや愛着心を身につけた子どもたちは元気そのものです。また優しいまなざしで子どもたちを指導するのは地域の大人たちです。郷土が誇る芸能を子どもと大人が共に披露する場が「ふるさと芸能のつどい」です。今年で8回目を迎えますが、皆さまの大きな拍手がさらに地域と子どもを育てます。